

# 岩手県立大学社会福祉学部 第9回学術講演会・県大福祉フォーラム

その意味と支援  
を  
考  
え  
る  
行  
動  
障  
害

令和5年10月21日（土）13：00-16：30（開場 12：30）  
岩手県立大学滝沢キャンパス 講堂（滝沢市巣子152-52）

行動障害とは、環境への不適応が行動にあらわれた状態であり、本人や周囲の人たちの生活に支障をきたす様々な行動群のことをいいます。強いこだわりや、自らを傷つけてしまうといった「強度」な影響を及ぼすものまで、様々な形であらわれます。

こうした行動は、これまで、「問題（行動）」と呼ばれ、あたかも「本人」に問題があるかのように語られることがありました。しかし、行動障害における問題とは「人と環境との不適合」であり、その「行動」には本人が伝えようとする「意味」があります。行動障害に込められた意味を問うことで、すべての人たちが共に生きる地域社会のあり方について一緒に考えます。

事前申込不要  
参加費無料

## <第一部：基調講演>

「子どもや大人たちが『行動障害』で伝える意味をどう理解したらいいかー支援方法を今一度考えてみるー」

講師 肥後 祥治 教授（鹿児島大学教育学部）

## <第二部：県大福祉フォーラム（シンポジウム）>

「子どもや大人たちが『行動障害』で伝える意味をどう理解してきたかー岩手での支援方法のこれまでとこれからー」

報告者 小川 博敬 氏（岩手県自閉症協会会長）

高屋敷 大助 氏（社会福祉法人若竹会 障害児入所施設らいず所長）

内藤 和宏 氏（岩手県障がい保健福祉課主任主査）

討論者 肥後 祥治 教授（鹿児島大学教育学部）

佐藤 匡仁 教授（岩手県立大学社会福祉学部）

コーディネーター 中谷 敬明 教授（岩手県立大学社会福祉学部）



©肥後祥治教授